

文学研究科・理工学研究科地理学専攻 博士前期課程

【解答（解答案）又は解答のポイント】

○印の科目の解答（解答例）又は解答のポイントを掲載しています。志願者がいなかった専攻については、掲載しておりません。

研究科	専攻	試験科目	入試方式	令和8年度	ページ
文学	哲学	外国語 専門	一般入試 第2期	○	3-8
文学	史学	外国語 【日本語】※ 専門	一般入試 第2期	実施なし	9
文学	国文学	外国語 【日本語】※ 専門	一般入試 第2期	○	10-13
文学	中国学	外国語 専門	一般入試 第2期	○	14-20
文学	英文学	外国語 【日本語】※ 専門	一般入試 第2期	○	21-25
文学	ドイツ文学	外国語 【日本語】※ 専門	一般入試 第2期	○	26-29
文学	社会学（社会学コース）	外国語 【日本語】 専門	一般入試 第2期	○	30-39
文学	社会学（社会福祉学コース）	外国語 【日本語】※ 専門	一般入試 第2期	○	40-45
文学	教育学（教育学コース）	外国語 【日本語】 専門	一般入試 第2期	○	46-53
文学	教育学（体育学コース）	外国語 専門	一般入試 第2期	○	54-60
文学	心理学（心理科学コース）	外国語 専門	一般入試 第2期	○	61-67
文学	心理学（臨床心理学コース）	外国語 専門	一般入試 第2期	○	68-74
理工学	地理学	外国語 専門	一般入試 第2期	○	75-80

【】印の日本語科目は外国人留学生向けです。

※ 印の日本語科目は共通問題です。1-2 ページに掲載しております。

史学・国文学・英文学・ドイツ文学・社会学専攻社会福祉学コース（共通）

日 本 語

史学・国文学・英文学・ドイツ文学

社会学専攻社会福祉学コース（共通）：日本語

解答（解答例）又は解答のポイント

著作権に該当する箇所のため、解答は開示できません。

以　上

哲学専攻

外国語

哲学専攻：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

著作権に該当する箇所のため、解答は開示できません。

以　上

哲学専攻

専 門

哲学専攻：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

次の4問中、2問を選んで論述しなさい。

（ただし、それぞれ別の解答用紙に、選択した番号を記した上で、解答すること）

I. 次の5つの概念ないし議論について説明しなさい。

- ① 中立的なもの（キュプロスのゼノン）
- ② 超越概念（トマス・アキナス）
- ③ 感情の模倣（スピノザ）
- ④ 知識学（フィヒテ）
- ⑤ まなざし（サルトル）

最低限触れてほしいポイントを指摘する。

- ① 中立的なもの（キュプロスのゼノン）

- ・ゼノンによると、善い行為とは整合的な論理によって説明可能なものであること。
- ・ゼノンによると、推論の誤りに程度の差がないように、誤った行為にも程度の差はないこと。
- ・ゼノンによると、善悪の根拠は、行為に先立つ思考の論理が正しいかどうかにかかっているため、論理的な思考に関与しない事柄は善悪にかかわらないものとして「中立的なもの」と呼ばれること。

- ② 超越概念（トマス・アキナス）

- ・一般的には、範疇の最高類がもっている限定性を超えるものを意味すること。
- ・トマスがこれを『真理論』で論じていること。
- ・トマスが、「存在」と置換可能なものとして、「もの」「一」「或るもの」「真」「善」を挙げていること。

- ③ 感情の模倣（スピノザ）

- ・スピノザが『エチカ』第三部で提示している議論であること。
- ・スピノザによると、身体や精神といった様態に起こる変状の観念は、変状された身体の本性と、それを引き起こした外部の身体の本性とを含むこと。
- ・そのことに基づいて、私たちと類を同じくするものが或る感情に刺

激されることを表象すると、私たちはそれと類似の感情に刺激されること。

④知識学（フィヒテ）

- ・フィヒテが「学の学」，「知の知」という意味で用いた概念であること。
- ・フィヒテによると，「知識学」とは，知が自らを対象へと超出し，対象から自らへと還帰し，知みずからを根拠づけるという性格を明らかにすると同時に，そこから全世界経験を説明するものであること。
- ・フィヒテによると，それはまた，究極的には生と知の合一をめざすものでもあったこと。

⑤まなざし（サルトル）

- ・サルトルが『存在と無』で論じた議論であること。
- ・サルトルによると，私と他者との根源的關係は，「他者によって見られている」という私の体験であること。
- ・サルトルによると，この体験において，私は「対他存在」としての私とともに，他者の捉え難い主観性を直接的に体験すること。

Ⅱ．徳倫理学とはどのような倫理学であるか，現代における代表的な論者の説を複数例に挙げて解説しなさい。

【解答のポイント】

まず，徳倫理学の説明として，義務や規則，行為の帰結を重視する倫理学の立場（義務論と功利主義がその典型）に対して，徳や性格といった行為者の在り方を重視する倫理学の立場であることが，明確に述べられていること。さらに，徳倫理学はソクラテスやプラトン，ストア派といった，古代ギリシア倫理学の主流であったが，現代における復活においては，とくにアリストテレス倫理学が再評価された点も指摘してほしい。

「現代における代表的な論者の説」としては，例えば，以下に挙げる人物の中から，3人程度を選んで，それぞれの主張の要点が正しく述べられていることが望ましい。

G. E. M. Anscombe, P. R. Foot, A. MacIntyre,
R. Hursthouse, M. Nussbaum

Ⅲ．美と美学（美の学）に関するバウムガルテンとカントの学説を，それぞれの *aesthetica* または *Ästhetik* の概念を比較した上で，概説しなさい。

【解答のポイント】

本設問は、美学（aesthetica）成立期の美学の基本的知識を試すために出題された。これに答えるためには、概ね以下の1，2，3が順に満たされることが望ましい。

1. バウムガルテンにおける aesthetica の意味。
2. カントにおける Ästhetik の意味。特に批判哲学期の Ästhetik に超越論的感性論としての意味、すなわち（美の学ではなく）時間及び空間という両形式における直観の成立を問う学という意味を持たせるようになったという事実。また『判断力批判』においても、バウムガルテン的な「美の学」を否定しているという事実。
3. 以上の知識から両者の違いを際立たせつつ、それぞれの美学史における意義等について自分なりに言及できること。

IV. インドにおける部派仏教について、現在知られている諸部派分裂の経緯および代表的な部派の名称をあげて、その思想的特徴や論書の展開を説明しなさい。

【解答のポイント】

上座部と大衆部の根本分裂および、そこから諸派への分裂（枝末分裂）について解答する問題である。北伝と南伝の経典の記述には相違があるため、どの経典に基づいているかを明記する必要がある。今回の設問ではよく知られた経緯を記述した『異部宗輪論』に基づくことが望ましい。『島史』や『大史』の記述も認める。20部派の分裂の経緯について述べ、代表的な部派として、最も勢力のあった説一切有部をあげ、その思想的特徴として三世実有・法体恒有について説明する。有部の論書として六足論、『大毘婆沙論』，『俱舍論』，『順正理論』等に言及することが望ましい。

史学専攻

実施なし

外国語
専門

国文学専攻

外国語

国文学専攻：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

以　上

国文学専攻

専 門

国文学専攻：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

修士課程の入学試験に就いては，この課程での学修・研究に際して基盤となる学術語に就いて十分に把握しているかを確認するために，キーワードを示し，それに対して必要に応じて具体例を挙げて分かり易く説明することを求めている。

また，場合によっては，読解力を確認するために既存の作品等文章を示し，解読やその内容の解釈等を示すことを求めている。

いずれもこの課程の学修・研究で必要となる基礎知識を問う問題であるから，入学前段階の課程で獲得した学力を解答用紙に存分に発揮して欲しい。

以　上

中国学専攻

外国語

中国学専攻：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

外国語（中国語）

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

外国語（英語）

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

以　　上

中国学専攻

専 門

中国学専攻：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

問 1．次の中国語の下線部①，②を日本語に訳しなさい。なお訳文中の書名は簡体字ではなく，日本の常用漢字又は旧字を用いること。

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

問 2．次の語句の中から二つ選び，その語句についてそれぞれ日本語で詳しく説明しなさい。

①戴震：

戴震は，中国清代中期の学者・思想家である。客観的実証を重んじる清朝考証学の代表的人物として，上古漢語の研究や四庫全書の編纂などで大きな業績を残した。主著と目される『孟子字義疏証』は，当時の正統であった朱子学の禁欲主義を厳しく批判し，人間の自然な感情や欲求を肯定する独自の思想を述べたものである。

②『南進台湾』：

『南進台湾』は植民地期台湾で制作された記録映画。1937 年版，1940 年版がある。後者は盧溝橋事件後の変化に対応し，より国策宣伝としての色彩が強い。当時の日本の「南進論」に基づき日本植民地統治下の台湾における近代化の成果が強調され，東南アジア進出の拠点としての台湾の戦略的重要性を訴える内容である。

③「小二黒結婚」：

「小二黒結婚」は，趙樹理が 1940 年代前半に発表した短編小説である。抗日戦争期における解放区の農村を舞台に，封建的な習慣や悪習を乗り越えて自らの意思で自由恋愛，自由結婚を果たそうとする若い男女を描いた。趙樹理はこの作品により，毛沢東「文芸講話」の思想を担う人民文学の代表作家としての評価を高めることになった。

④新東北作家群：

新東北作家群とは，近年の中国文学界で大きな脚光を浴び，作品のドラマ化や映画化も相次ぐ，中国東北部出身の若手作家たちのグループを指す。代表的な作家・作品として，双雪涛「平原上的摩西（平原のモーセ）」，班宇「冬泳」，鄭執「仙症（ハリネズミ）」が挙げられる。内

容は、閉鎖に追い込まれた国営企業で働いた親世代の苦境や、その子供である若者たちの焦燥感を描くものが多い。

⑤南巡講話：

1992年に鄧小平が中国南部を視察した際に行った一連の講話。1989年の天安門事件後、中国では社会主義的統制を強める動きが広がり、思想面では1980年代の改革・開放政策への反動が、経済面では計画経済・統制経済への回帰を求める主張が強まっていた。これに対し鄧は、経済面における開放を後退させてはならないとした。南巡講話は、改革開放路線を再び推進する転機となり、その後の市場化と経済発展を加速させた。

⑥『広韻』：

北宋時代の1008年、陳彭年らが切韻系韻書を増補改訂して編纂した韻書。上平・下平・上・去・入の5巻よりなる。漢字の音を、まずは声調ごとに分類し、その後韻母ごとにまとめ、反切を用いて漢字の発音を示している。隋代から唐代にかけての中古音の音韻体系を現代へ伝えるものであり、漢語音韻学および音韻史研究において最も重要な基礎資料である。

問3. 以下の設問の中から二つ選んでそれに日本語で答えなさい。

(解答は次頁に記入すること)：

①五四時期の女性作家を複数挙げ、作品と特徴について詳しく説明しなさい。

1910年代後半の五四時期に誕生した主な女性作家に、謝冰心、(黄)盧隱、凌叔華らがいる。これらの女性作家たちは、旧来の封建的家庭からの脱却や、恋愛と結婚の自由を追い求める女学生たち、理想と現実のなかで葛藤する家庭婦人たちをテーマとする白話体の短編小説を描いたことに特徴がある。なかでも謝冰心は、この時期に発表した「兩個家庭(二つの家庭)」のなかで、貧しいが愛情に満ちた新式家庭と、豊かだが様々な問題を抱える旧式家庭を対比して描いた。これら社会的なテーマを扱った「問題小説」を中心とした一方、抒情的な文体を通じて母性愛や自然愛を重んじる「愛の哲学」を掲げたことでも知られている。

「閨秀作家」として知られる凌叔華は、「繡枕(刺繡の枕)」において、刺繡の出来栄によって男性たちに品定めされ、その犠牲となる旧式家庭の娘の悲哀を繊細な筆致で描き出した。

②五言詩がいつ、どのように誕生したかについて詳しく説明しなさい。

『詩経』では四言詩が中心であった。その後、前漢から後漢にかけて民間歌謡である楽府が発達するようになる。漢代の楽府には句数が不定の雑言体も多く存在するが、次第に五言という形式に集約されるようになり、文人もこれを取り入れるようになった。特に後漢末ごろの作といわれる、『文選』に収められる「古詩十九首」は、五言詩の成熟を示す代表的な作品群であり、男女の別離や恋愛、旅、人生の無常など、人間の感情を豊かに表現している。これらは特定の作者が存在するわけではなく、いずれも無名氏による個人の文学である。続いて、後漢末から建安期には、曹操・曹丕・曹植および王粲や劉楨をはじめとする建安七子が五言詩を積極的に創作するようになり、ここではじめて個人の文学の誕生となる。五言詩は後漢末から建安期にかけて成熟し、魏晉南北朝を経て中国古典詩の重要な形式として定着した。

③香港における広東語映画と国語映画の関係について詳しく説明しなさい。

1930年代のトーキー登場後、香港を中心に広東語映画が急成長し、国内外で「地域標準語」として強い求心力を獲得した。これに対し、北京語による「国語統一」と国民統合を進める中華民国政府は広東語映画の影響力を警戒し、1936年に「方言映画禁止令」を發布した。だが、香港の映画人は「華南電影協會」を結成して救国運動に資する映画を制作し、禁止令の執行延期を実現させた。また、戦後は大陸からの映画人の南下により一時北京語映画が優勢となったものの、1960年代には『南北和』シリーズ等の言語混交映画が作られ、1970年代以降は再び広東語映画が主流となった。1980年代以降は、多様な言語使用が社会の現実を描くリアリズム表現として定着していった。つまり、両者の関係は統制と抵抗の対立から、社会の多様性を反映する共存へと変容してきたといえる。

④中国新ドキュメンタリー映画運動について、代表的作品を3本以上挙げながら、その登場と展開、現状について詳しく説明しなさい。

中国新ドキュメンタリー映画運動について、代表的作品を3本以上挙げながら、その登場と展開、現状について詳しく説明しなさい。

1980年代末から1990年代初頭にかけて始まった中国新ドキュメンタリー映画運動の胎動をうながしたのは改革開放後の社会的流動性の高まりである。初期の作り手は、地方出身の若者たちの現実を描き出した呉文光『流浪北京』（1990年）や賈樟柯の『小山回家』（1995年）のように既存の公営テレビ局や大学の機材・人材を活用しながら、自主製作により国

家イデオロギーに拘束されない形で、底辺の人々や社会の周縁に焦点を当てた作品を生み出した。1990年代後半にデジタル・ビデオが普及すると、王兵の超大作『鉄西区』（2003年）なども登場し、急激な市場経済化に取り残された労働者や地方都市の現実を記録し、国際的にも高く評価された。こうした作品群は製作スタイルも内容も公的ドキュメンタリーとは一線を画し相互ネットワークを活用していることから「中国新ドキュメンタリー運動」と呼称されるようになった。近年は表現規制や検閲の強まりを受け、独立上映会などの活動拠点が減少しているが、監督たちは海外出資や配信プラットフォームの活用、地域プロジェクトへの展開を通じて試みを続けている。

⑤ 劉以鬯の文学について、具体的な作品名を挙げながら詳しく論じなさい。

劉以鬯は、香港文学の代表的作家であり、中華圏におけるモダニズム文学の金字塔を打ち建てた小説家・編集者である。上海出身の劉以鬯は、1940年代後半に香港へ移住したのち、商業主義が支配的だった当時の香港において、娯楽小説で生計を立てながら文学的実験を試みる生活を送り、その葛藤と苦悩を意識の流れの技法を取り入れた「酒徒」において鮮明に描き出した。また小説「対倒」では、寂寞として香港の街をさまよう中年男の目線と、未来への期待と妄想に胸をふくらませる若い娘の交差を対比させ、モンタージュ技法などを用いて浮き彫りにした。その文学は香港映画の巨匠、ウォン・カーウアイ（王家衛）監督にインスピレーションを与え、映画『花樣年華』や『2046』のモデルとなったことでも知られている。

以 上

英文学専攻

外国語

英文学専攻：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

以　　上

英文学専攻

専 門

英文学専攻：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

専門（英文学分野）

I 解答例

消えろ，消えろ，つかの間のろうそくよ！

人生は歩く影，哀れな（下手な）役者にすぎず，
舞台の上で出番の間，気取って歩き，やきもきし，
そしてそれからそれ以上は聞いてもらうことはない。人生は，
ばか者によって語られる，騒ぎと激怒に満ちた物語であって，
何も意味するものはない。

II 解答例

- (1) 16 世紀に Surrey 伯爵が最初に用いた，弱強五歩格で脚韻を踏まない詩形。Christopher Marlowe の「力強い詩行」は無韻詩の代表例であり，William Shakespeare も初期の作品から使った。17 世紀には John Milton が叙事詩を書く際に用いた。
- (2) 時・場所・筋の三統一（三一致）。Aristotle が『詩学』で暗示した。ルネサンス期のイタリアおよびフランスで，1 つの劇作品では，1 つの筋が 1 つの場所で 1 日のうちに展開されなければならないという厳密な法則となった。16・17 世紀の劇作家・詩人・批評家の Benjamin Jonson は新古典主義を唱えて三統一の法則を守って作品を書いた。

III 解答（解答例）

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

専門（米文学分野）

設問 1 ～ 3

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

設問 4

正解：C) Katherine Anne Porter, F) Tennessee Williams,
G) Eudora Welty

専門（英語学分野）

問題 I

設問 1 ～ 4

著作権に該当する箇所のため、解答は開示できません。

問題Ⅱ

【解答のポイント】

どちらの立場を選んでも評点に変わりはないが、いずれも裏付けとなる根拠・理由を明記したうえで、関連する先行研究の概要にも言及があること。

【立場 A を選択する場合】

文脈に依存しない、言語そのものに関する研究が必要であることの理由
立場 A をとる、既存の研究の例

【立場 B を選択する場合】

言語の仕組みを知るためには、それが使われる文脈こそが必要であることの理由

立場 B をとる、既存の研究の例

以 上

ドイツ文学専攻

外国語

ドイツ文学専攻：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

以　上

ドイツ文学専攻

専 門

ドイツ文学専攻：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

【A. 文学】

辞書に記載されているような用語の説明だけではなく、先行研究を踏まえた高い専門性のある解答が求められる。

【B. 語学】

ドイツ言語語学における基本的な概念について理解していることを、的確な例を挙げて論理的に説明する。

【C. 文化】

辞書に記載されているような用語の説明だけではなく、先行研究を踏まえた高い専門性のある解答が求められる。

以　　上

社会学専攻社会学コース

外国語

社会学専攻社会学コース：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

著作権に該当する箇所のため、解答は開示できません。

以　　上

社会学専攻社会学コース

日 本 語

社会学専攻社会学コース：日本語

解答（解答例）又は解答のポイント

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

以　　上

社会学専攻社会学コース

専 門

社会学専攻社会学コース：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

設問 1 解答例

※以下の解答例は、各学説の多様な要素や解釈の一部に基づいたものであり、それぞれの学説の主要な論点に基づいた内容であれば、他の記述でも可とする。

a. AGIL 図式 × 10. パーソンズ

AGIL 図式は、タルコット・パーソンズの構造機能主義理論において社会体系の存続条件を整理した分析枠組みである。社会は①適応（Adaptation）、②目標達成（Goal attainment）、③統合（Integration）、④潜在的パターン維持（Latency）の四機能を満たすことで安定的に再生産されるとされる。各機能は経済、政治、共同体、文化制度などに制度的に分化し、相互依存的に秩序を形成する。この図式は戦後社会学におけるマクロ理論の中心概念となり、後の機能主義批判の基準点ともなった。

b. 違背実験 × 3. ガーフィンケル

違背実験はハロルド・ガーフィンケルのエスノメソドロジーにおける代表的手法であり、日常生活の自明性を意図的に破ることで社会秩序の成員的達成を明らかにする。例えば家庭内で他人のように振る舞うなど、暗黙の規範を逸脱させると、参加者は秩序回復のための説明や修復行為を行う。この反応過程の分析により、社会秩序が外在的な構造ではなく相互行為の実践的推論によって生成されていることが示される。従来の外在的な構造による説明を行う社会学への根本的批判を担った。

c. カルチュラル・スタディーズ × 6. ホール

カルチュラル・スタディーズは、文化を権力関係のなかで分析する学際的研究潮流であり、スチュアート・ホールが中心的理論家である。ホールはメディア・テキストの意味が送り手によって固定されるのではなく、受け手の社会的位置に応じて多様に解釈されとする「エンコーディング／デコーディング」モデルを提示した。これにより文化は支配と抵抗の闘争領域として把握され、階級・人種・ジェンダーなどの政治性が可視化された。従来のハイカルチャー中心主義を批判し、大衆文化研究を正当化した点に意義がある。

d. 感情労働 × 9. ホックシールド

感情労働はアーリー・ホックシールドが提起した概念で、対人サービス職において組織が期待する感情表出を労働者が管理・演出する過程を指す。客室乗務員などは内面の感情とは別に「感じているかのように振る舞う」ことを求められ、表層演技や深層演技が生じる。この過程は感情の商品化と疎外をもたらし、資本主義の支配が人格領域へ拡張していることを示す。労働研究に感情という次元を導入した点で大きな理論的影響を与えた。

e. 共有地の悲劇 × 1. ハーディン

共有地の悲劇はギャレット・ハーディンが提示した環境社会学的命題で、共有資源を各主体が合理的に利用すると、結果として資源枯渇が生じるという集合行為問題を示す。放牧地の過剰利用の例が典型であり、個人合理性と集団合理性の乖離が悲劇を生む。解決策として私有化や国家規制が論じられ、環境政策・資源管理論に大きな影響を与えた。一方で共同体的規範による管理可能性を指摘する批判も展開されている。

f. 構造化理論 × 8. ギデنز

アンソニー・ギデنزの構造化理論は、構造と行為の二元論を克服しようとする社会理論である。社会構造は行為を制約すると同時に、行為の反復を通じて再生産されるという「構造の二重性」が中核概念である。主体は実践的意識を用いて日常行為を遂行し、その過程で制度的秩序が維持される。この理論はマクロとミクロを架橋する試みとして後期近代論へ接続し、社会学理論の統合的枠組みを提示した。

g. 資源動員論 × 4. マッカーシーとゾールド

資源動員論は社会運動を不満の爆発ではなく、組織化された合理的行為として捉える理論であり、マッカーシーとゾールドが体系化した。運動の成否は資金、人材、組織、ネットワークなどの資源獲得能力に依存するとされ、運動組織は外部支援者との関係を含む戦略的主体として分析される。これにより感情中心の群集論は退けられ、社会運動研究は制度分析や政治過程論へと展開した。

h. 中範囲の理論 × 7. マートン

ロバート・K・マートンの中範囲の理論は、全体社会を説明する大理論と個別経験記述の中間に位置する経験的検証可能な理論を指す。アノミー論や参照集団論など具体的命題を積み重ねることで累積的知識形成を目指す点に特徴がある。これはパーソンズ的抽象理論への批判として提示され、戦後アメリカ社会学の実証主義的方向性を規定した。理論と経験研究の架橋として現在も重要視される。

i. 文化的オムニボア × 2. ピーターソン

文化的オムニボアはリチャード・ピーターソンが提起した文化消費論で、上流階級ほど多様なジャンルを横断的に享受する傾向を示す。従来のハイカルチャーのみを好む上流階級像に代わり、雑食的嗜好が新たな地位指標となるとされた。これは文化資本の再編を示唆し、ポスト産業社会における階層文化の変容を説明する理論として広く参照されている。

j. リキッド・モダニティ × 5. バウマン

ジグムント・バウマンのリキッド・モダニティは、制度や関係が固定性を失い流動化した後期近代社会を指す概念である。雇用、共同体、アイデンティティはいずれも持続的基盤を欠き、個人は自己責任のもとで選択を迫られる。この不安定性は自由の拡大と同時に排除や不安を生み出す。バウマンは消費社会やグローバル化と結びつけて近代の新しい段階を描き、現代社会論に大きな影響を与えた。

設問 2

解答例

問 1 この提言は、二つの事象が同時に変動する相関関係と、一方が他方を引き起こす因果関係を混同しており、論理的に誤りである。データ上で正の相関が確認されても、テレワークが売上増加の直接的な原因とは断定できない。

本件の背後には、「業種（IT・情報通信業か否か）」などの第三変数が潜んでいると考えられる。IT 業界は業務特性上テレワークへの移行が容易であると同時に、近年のデジタル需要の拡大によって売上も伸びやすい。つまり、テレワークの実施と売上増加は、業種という第三変数をもたらした二つの結果が同時に観察されているに過ぎず、両者の関係は見かけ上の擬似相関である可能性が高い。

もしこの因果のメカニズムを見誤り、現場での実作業や対面接客が不可欠な製造業やサービス業が無理にテレワークへ移行すれば、業務効率が著しく低下し、かえって業績悪化を招く恐れがある。よってこの一律の導入提言は極めて不適切である。

解答のポイント

- ・用語適用：（「相関があっても因果とは限らない」旨を文脈に即して記述しているか否か）
- ・第三変数：（適切な第三変数（業種、IT 化の度合い等）を具体的に挙げているか否か）

- ・論理構造：（第三変数が原因となり，テレワークと売上の両方が生じている（擬似相関）構造を説明できているか否か）
- ・批判的考察：（提言を鵜呑みにした場合の弊害（製造業での失敗など）に触れ，反論できているか否か）

問 2

（1）解答例

質問文：「学校がない休日の，朝起きてから夜寝るまでの具体的なスケジュール（何時に何をしたか）を教えてください。」

意 図：「大変か」という主観を聞くのではなく，実際の「時間の使い方」や「ケアに割いている時間量」という事実を聞き出すことで，客観的な拘束状況（＝役割葛藤）を把握するため。

（1）解答のポイント

- ・事実ベースの操作化：（「辛いか」といった抽象的感情ではなく，行動事実，スケジュール，具体的なエピソード等の「事実」に即した操作的定義（問いへの変換）ができているか否か）
- ・回答しやすさの工夫：（14 歳の対象者が思い出しやすいよう，「休日は」「昨日の夜は」など，期間や場面の設定が具体化されているか否か）
- ・概念との整合性：（その質問への回答が，結果的に「自分の時間が持てない（役割葛藤）」状況を浮き彫りにする内容になっているか否か）
- ・ワーディングの欠陥：（「辛いですか？」「親は好きですか？」といった抽象的な感情質問になっていないか。）
- ・調査法上の誤り：（誘導尋問（「～で大変ですよ？」）や，ダブルバール（「家族の世話と学校の宿題は大変ですか？」等，一度に二つのことを聞く質問）になっていないか。）

（2）解答例

第一に，対象者の選定および承諾手続きについてである。対象者は 14 歳の未成年であるため，本人の同意（アセント）に加え，必ず保護者（親権者）の同意を得て選定する必要がある。また，繊細なテーマであることから対象者の心理的負担に十分配慮し，本人の協力はあくまで任意であり，調査中であっても不利益なく回答の拒否や同意の撤回ができる権利を，平易な言葉で説明し保証する。

第二に、データの取り扱い方法についてである。録音機材の使用は事前に目的を説明して許可を得る。収集データは個人の特特定を防ぐため直ちに匿名化処理を行い、第三者がアクセスできないパスワード付き媒体で厳重に管理し、対象者のプライバシー保護と信頼関係の維持を徹底する。

(2) 解答のポイント

- ・保護者（親権者）の同意：（「14 歳」という年齢に着目した法に即した対応が取れているか否か）
- ・協力の任意性と撤回権：（無理強いしない、いつでもやめられる権利の保証等を説明・担保できているか否か）
- ・記録機材の事前承諾：（無断録音の禁止等、相手のプライバシーに配慮した対応が取れているか否か）
- ・データの匿名化と厳重管理：（個人情報情報の秘匿、パスワード管理等に配慮した対応が入れ込めているか否か）
- ・対象者の特性（年齢・心理面）への配慮：（「14 歳にわかる平易な言葉で説明する」「繊細なテーマゆえにフラッシュバック等の心理的負担に配慮する」といった、対象者に寄り添う具体的な工夫がなされているか否か）

以 上

社会学専攻社会福祉学コース

外国語

社会学専攻社会福祉学コース：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

以　　上

社会学専攻社会福祉学コース

専 門

社会学専攻社会福祉学コース：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

問1 次の用語から4つ選択し，説明をしなさい。選択した用語の番号を必ず記載すること。

1) 福祉多元主義

福祉多元主義とは，社会福祉を国家だけに任せず，市場，家族，地域社会，NPO，企業など多様な主体が役割を分担して提供するという考え方である。利用者の多様なニーズに柔軟に応えられる一方，主体間の連携不足や地域・所得によるサービス格差，責任の所在が曖昧になる点などが課題とされている。

2) 生活保護

生活保護とは，資産や能力などを活用しても生活に困窮する人に対し，国が必要な保護を行う制度である。生活費，家賃，医療費などを扶助し，健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに，自立を支援する。保護費は，国が定める最低生活費から世帯の収入を差し引いて決まり，申請や相談は地域の福祉事務所で受け付けている。

3) エコロジカルモデル

エコロジカルモデルとは，生活上の問題を個人だけの責任とせず，家族，学校，職場，地域，社会制度など，本人を取り巻く環境との相互作用から捉える考え方である。ソーシャルワーカーは，本人の力を高める支援と環境の調整，社会資源の活用を同時に行い，個人と環境を適応させて生活課題の解決を目指す。

4) M・リッチモンド

メアリー・リッチモンドは，アメリカの社会福祉実践家で，「ケースワークの母」と呼ばれている。慈善組織協会での実践を基に，1917年に『社会診断』を著し，本人だけでなく家族や社会環境も調査・分析する援助方法を体系化した。今日の個別援助技術（ケースワーク）の基礎を築いた人物である。

5) 国際生活機能分類

国際生活機能分類（ICF）は，2001年にWHOが採択した，人の健康状態や生活機能を総合的に捉える枠組みである。「心身機能・身体構造」「活動」「参加」に加え，環境因子や個人因子との相互作用を重視する。

障害を本人の機能低下だけでなく、周囲の環境との関係から捉え、医療・福祉などの分野で使われる。

6) 介護保険制度

介護保険制度は、高齢者の介護を家族だけでなく社会全体で支える、日本における公的保険制度の1つである。40歳以上が保険料を負担し、市区町村が運営する。要介護・要支援認定を受けると、原則として費用の一部を負担し、訪問介護、通所介護、施設サービスなどを利用できる。40～64歳については、指定された特定疾病に罹患している場合にのみ対象となる。

7) アフターケア

アフターケアとは、施設退所や支援終了後も、利用者が地域で安定した生活を続けられるように行う継続的な支援のことである。定期的な面談や訪問、電話相談を通じて生活状況を確認し、再発や再入所を予防する。必要に応じて医療・福祉・就労などの関係機関につなぎ、自立と社会参加を支える。

8) 依存症

依存症とは、アルコールや薬物などの物質、ギャンブルなどの行為を、生活や健康に問題が生じてでも自分の意思でやめたり減らしたりできない状態である。意志の弱さや性格の問題ではなく、誰にでも起こり得る病気である。本人だけでなく家族にも影響するが、専門医療、相談支援、自助グループなどにつながることで回復が可能である。

9) 世界人権宣言

世界人権宣言は、第二次世界大戦の反省を踏まえ、1948年12月10日に国連総会で採択された、人権保障の世界共通の基準である。全30条で、すべての人が生まれながらに自由で平等であることを基本に、生命、自由、教育、労働、社会保障などの権利を示している。法的拘束力はないが、各国の憲法や国際人権条約に大きな影響を与えている。

10) 児童虐待防止法

児童虐待防止法は、児童虐待の予防・早期発見、虐待を受けた子どもの保護と自立支援を目的に、2000年に制定された法律である。虐待を身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待に分類し、保護者による虐待を禁止している。虐待を受けたと思われる子どもを発見した人には、市町村や児童相談所などへの速やかな通告を義務づけている。

問2 ソーシャルワークにおける当事者参加の課題について具体的な分野を挙げながら説明しなさい。

【解答のポイント】

- ・ソーシャルワークにおける当事者参加の意義や重要性を，ソーシャルワーク理論と関連づけて適切に説明すること
- ・具体的な領域（児童福祉分野，障害者福祉分野，高齢者福祉分野など）や事象と紐付けて当事者参加の現状を正確に論述すること
- ・上記に関連させて，現在日本における当事者参加の課題，さらにはその課題に向けた取り組みや方向性を正しく記述すること

問3 日本において一番課題だと思う社会福祉の事象について説明し，その一番だと思う理由を述べなさい。その課題に対して，どの機関がどのような役割を担うべきか答えなさい。

【解答のポイント】

- ・社会福祉領域で課題とされている事象を適切に取り上げ，その事象について歴史的背景，法律・制度面，実践面など多様な視点で記載すること
- ・取り上げた事象について，客観的なエビデンスなどを用いて，現在日本において一番課題であるということが説得力を持って論述すること
- ・取り上げた事象に関わる社会福祉機関やその役割について正確に記述すること
- ・上記と関連させて，取り上げた事象に関わる社会福祉機関が今度果たすべき役割について根拠を持って考察すること

以 上

教育学専攻教育学コース

選択者なし

外 国 語

教育学専攻教育学コース

日 本 語

教育学専攻教育学コース：日本語

解答（解答例）又は解答のポイント

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

以　　上

教育学専攻教育学コース

専 門

教育学専攻教育学コース：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

問 1 以下の説明文を読んだうえで、(1)～(2)についてそれぞれ論述しなさい。

- (1) 「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）」に示されている「多様な専門性を持つ職員」（専門能力スタッフ）のうち、教員以外の専門スタッフの一例をあげ、その専門スタッフの専門性や職務内容、「チームとしての学校」に果たす役割について論述しなさい。

【解答のポイント】

- ①心理や福祉に関する専門スタッフ（スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW））、授業等において教員を支援する専門スタッフ（ICT 支援員、学校司書、外国語指導助手（ALT）、補習など学校教育活動を充実させるための指導員等、スクール・サポート・スタッフ、理科の観察実験アシスタント、外国人児童生徒等に対する日本語指導支援員）、部活動に関する専門スタッフ（部活動指導員、外部指導者（部活動））、特別支援教育に関する専門スタッフ（医療的ケアを行う看護師等、言語聴覚士（ST）、作業療法士（OT）、理学療法士（PT）等の外部専門家、就職支援コーディネーター、早期支援コーディネーター、発達障害支援コーディネーター、合理的配慮コーディネーター、特別支援教育支援員）等のいずれか一つをあげ、その専門性や職務内容に関して法令等を基に言及している。
- ②専門スタッフの定義「子供たちへの指導を充実するために、専門的な能力や経験等を生かして、教員と連携・分担し、教員とともに教育活動に当たる人材」に言及している。
- ③なお、①②に関しては上記以外にも、「多様な専門性を持つ職員」（専門能力スタッフ）として教育現場で役割を果たしている者（例えば、医師、弁護士等）をあげた回答も評価対象とする。
- ③「チームとしての学校」に果たす役割については、実際の活動やその業務が教員の指導の充実や業務負担軽減に寄与していることに、具体例等をあげながら言及している。

問2 以下の用語等から5つを選択し、それぞれ5行程度で説明しなさい。

(解答の際には、番号を必ず記入すること。)

1. 児童中心主義

解答例)

児童中心主義とは、教育内容や方法を教師や教科の論理ではなく、子どもの興味・関心、発達段階、経験等を重視して構成しようとする教育上の考え方である。新教育運動や進歩主義教育などにおいて展開され、学習者の主体的活動や経験、問題解決を重視する。一方で、子どもの自発性を尊重するあまり、体系的な知識の習得が軽視される可能性も指摘されている。

2. ハワード・ガードナー

解答例)

ハワード・ガードナーは、多重知能理論 (Multiple Intelligences Theory) を提唱したアメリカの心理学者である。知能を単一の能力として捉える見方に対して、言語的知能、論理数学的知能、空間的知能、音楽的知能、身体運動的知能、対人的知能、内省的知能、博物的知能という複数の知能を区別した。この理論は、学習者の能力の多様性を捉える考え方として教育にも影響を与えた。

3. 隠れたカリキュラム

解答例)

隠れたカリキュラム (Hidden Curriculum) とは、学習指導要領や教育課程に明示された学習内容とは別に、学校の制度や慣行、教師と児童生徒との関係、学校文化などを通して暗黙のうちに伝達・学習される価値観や規範、態度などのことである。学校における社会化に関わる重要な概念であり、社会的な価値や規範を伝達する一方、偏見や不平等を再生産する側面をもつことも指摘されている。

4. 学習方略

解答例)

学習方略とは、学習目標を達成するために学習者が意図的に用いる方法や工夫のことである。学習内容を反復するリハーサル方略、既有知識と関連づける精緻化方略、内容を整理・構造化する体制化方略などの認知的方略のほか、学習の計画や進捗状況を監視・調整するメタ認知的方略などがある。効果的な学習方略を身に付けることは、学習成果の向上や自律的な学習を促す上で重要である。

5. 全人教育

解答例)

全人教育とは、知識や技能の習得だけに偏るのではなく、知性、感情、身体、道徳性など、人間の諸側面の調和的な発達と人格の形成を目指す教育理念である。学力の育成だけでなく、豊かな人間性や社会性などを含め、人間を全体として捉えてその発達を支援することを重視する。学校教育においては、教科指導のみならず、特別活動や体験活動など、多様な教育活動を通じて調和のとれた成長を促すことが求められる。

6. 学習環境デザイン

解答例)

学習環境デザインとは、学習者の効果的な学びを支援するために、教材、学習活動、人的支援、ICT、物理的空間などの学習環境を総合的に設計する考え方である。授業内容や教授方法だけでなく、学習者同士や教師との相互作用、学習コミュニティの形成なども対象とする。学習者が他者や様々な学習資源と関わりながら、主体的・協働的に学ぶことのできる環境を構成することを重視する。

7. メタ認知

解答例)

メタ認知とは、自分自身の認知活動について認識し、それを監視・調整する働きを指す。一般に、自己の認知特性や課題、学習方略などについての「メタ認知的知識」と、自らの理解状態を把握するモニタリングや、それに応じて学習方法を修正するコントロールなどの「メタ認知的活動」から捉えられる。自らの学習を振り返り、適切に調整していく自己調整学習を支える重要な要素である。

8. パフォーマンス評価

解答例)

パフォーマンス評価とは、知識の再生だけでなく、学習者に知識や技能を活用する課題を課し、その遂行過程や成果物をもとに学習成果を評価する方法である。レポート、プレゼンテーション、実験、作品制作、実演などが代表的な例として挙げられ、知識・技能を実際に活用する力を把握することに適している。評価に際しては、評価基準や達成水準を明示したルーブリックなどが活用される。

9. 足場かけ（スキヤフォールディング）

解答例）

足場かけ（スキヤフォールディング）とは、学習者が自力では遂行が難しい課題に取り組む際、教師や他者が一時的に適切な支援を行い、学習を促すことである。ウッド、ブルーナー、ロスによって提唱された概念であり、ヴィゴツキーの発達最近接領域（ZPD）と関連して理解される。ヒントや問いかけ、モデルの提示などを行い、学習者の理解や技能の向上に応じて支援を徐々に減らし、最終的に自立した課題遂行を目指す。

10. スコープとシーケンス

解答例）

スコープ（scope）とシーケンス（sequence）は、教育課程を編成する際の基本的な観点である。スコープは、教育課程で扱う内容の領域や範囲、すなわち「何を学ぶか」を示す。一方、シーケンスは、それらの教育内容をどのような順序で配列するか、すなわち「どのような順序で学ぶか」を示す。学習者の発達段階や既有知識、学習内容の系統性などを考慮し、両者を適切に構成することが重要である。

以　　上

教育学専攻体育学コース

外国語

教育学専攻体育学コース：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

著作権に該当する箇所のため、解答は開示できません。

以　　上

教育学専攻体育学コース

専 門

教育学専攻体育学コース：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

以下の問題から 3 つの問題を選択して答えよ。

なお、そのうち主として解答する 1 問については◎印を、他の 2 問には○印をそれぞれの問題番号に付すること。また、解答用紙は 1 問につき 1 枚使用し、問題番号を記入すること。

問 1 短身の短距離選手の「動きの特徴」と速く走るための「適した動き」について力学的に説明しなさい。

解答例：

一般的に短身の短距離選手下肢長が短いため、1 歩で進めるピッチ（歩数）に依存しやすい傾向がある。そのためピッチを高めようと脚の引き戻しを急ぐと、地面に接地する際に身体重心の真下より前方へ着地しやすくなり、進行方向と逆向きの「ブレーキ力（水平反力）」が大きくなりやすくなる。速く走るには、ピッチを維持しつつストライド（歩幅）を無理なく伸ばす力学的動作が求められるが、そのような動作としては、鉛直反力を効率的に活用するために、接地直前に足部を体幹真下へ引き戻し、重心直下で接地することでブレーキ力を最小限に抑え、膝関節の力だけに頼らず、大臀筋やハムストリングスを用いた股関節伸展運動により、短い接地時間内で大きな鉛直・水平反力を地面に加えるようにする動作があげられる。またこの際、骨盤と体幹を安定させ、地面からの反力を骨格経由で力強く重心へ伝達することが重要である。

問 2 成長期のジュニアアスリートに対して栄養教育を実施する際の注意点や工夫、ポイントについて具体的に説明しなさい。

解答例：

ジュニアアスリートに対する栄養教育は、成長期特有の身体的発達段階を踏まえ、科学的根拠に基づいた体系的な指導を行うことが求められる。成長期は骨・筋肉・内臓の発育が著しく、運動量に加えて基礎的な成長のための栄養需要が高まるため、利用可能エネルギー不足（REDs）を防ぐ観点から、適切な食事量と栄養素の確保に関する教育が不可欠である。また、アレルギーや食物制限への配慮は必須であり、個々の選手の健康状態を把握した上で、

安全な食環境を整える必要がある。

栄養教育を実施する際には、保護者・指導者・学校の三者が連携し、学校給食や部活動の運営方針、校内規則等を踏まえた現実的な支援体制を構築することが重要である。特に、学校やチームの食環境は選手の行動に大きく影響するため、関係者間で情報共有を行い、継続的な教育が可能となる環境整備が求められる。

さらに、教育内容は単なる知識の伝達に留まらず、選手自身が食事の意義を理解し、自律的に適切な選択ができるよう促すことが重要である。年齢に応じた教材の活用や、保護者向けの啓発活動を併用することで、家庭・学校・チームが一体となった栄養教育が可能となる。総じて、ジュニア期の栄養教育は多面的な配慮を要する取り組みであり、関係者が協働して継続的に支援する体制が求められる。

問3 “テーパー（テーパーリング）”と“デトレニング”の違いについて簡潔に説明した上で、生理学的なデトレニングの影響について事例を挙げて詳述しなさい。

解答例：

テーパー（テーパーリング）とは、競技会前などにトレーニング量を計画的に減少させ、蓄積した疲労を軽減しながら、それまでに獲得した体力や競技能力を維持・向上させる調整法である。

一方、デトレニングとは、トレーニングの中断や著しい減少によって、これまで獲得した生理学的適応が失われていく現象をいう。

特に持久性能力では影響が比較的早く現れる。例えば、数週間にわたり持久的トレーニングを中断すると、血漿量が減少し、一回拍出量や最大心拍出量が低下するため、最大酸素摂取量が低下する。また、同一強度の運動に対する心拍数が増加することもある。骨格筋では、ミトコンドリア量や酸化系酵素活性、毛細血管機能などが低下し、脂質酸化能力や持久的代謝能力も低下する。

さらに中断が長期化すると、筋横断面積や筋力も低下する。したがって、テーパーリングが疲労を除去し競技力を発揮するための積極的な調整であるのに対し、デトレニングはトレーニング適応そのものが失われる過程がある。

問4 対応のない1要因分散分析とは何か、具体的に説明しなさい。

解答例：

対応のない一要因分散分析とは、英語で one-way between-subjects ANOVA と呼ばれ、互いに独立した3群以上の平均値に差があるかを検討する統計的仮説検定である。「対応のない」とは、同じ被験者を繰り返し測定しておらず、各群に存在する被験者が別々であることを意味している。

まず、研究者は統計的有意水準をあらかじめ設定する（一般的に5%）。例えば3群を比較する場合、「すべての群の平均値が等しい」という帰無仮説を立てる。F値が十分に大きく、有意確率であるp値が有意水準を下回れば、帰無仮説を棄却し、対立仮説を主張し差があると判定する。ただし、分散分析だけでは具体的にどの群とどの群が異なるか不明のため、有意差が認められた場合にはその後の検定として、Tukey法などの多重比較検定を実施する。なお、主な前提条件として、無作為抽出したデータであること、各群の正規性や等分散性が担保されていることである。このうち等分散性が満たされない場合には、Welchの一要因分散分析を用いることが知られている。

問5 リカバリー手法を複数挙げて説明しなさい。

解答例：

スポーツ現場におけるリカバリーとは、単なる消極的安静ではなく、体系的に管理された運動後のケアを通じてパフォーマンスを最大化し、オーバートレーニング症候群やスポーツ障害・疾病を予防する積極的な対応である。アスリートが連戦や日々のハードワークの中で高いパフォーマンスを発揮し続けるためには、運動直後から翌日に至るまでの時間枠に合わせた「戦略的リカバリープロトコル」の実践が不可欠である。運動終了後早期に行うリカバリー手法として、蓄積した代謝産物の早期除去と筋緊張緩和を目的とした軽運動（アクティブリカバリー）やストレッチング、筋グリコーゲンの回復を目的とした糖質やたんぱく質、BCAA等の迅速な補給が挙げられる。その後のリカバリーとして、コンタクト等で筋損傷が疑われる場合は10～20℃の冷水浴で炎症を抑制し、損傷を伴わない高強度運動後は交代浴で血流を促進させる。また、コンプレッションウェアの着用により、静脈灌流を補助する。就寝前には、中枢性疲労と自律神経の乱れに対処し、交感神経を鎮めるため、炭酸泉浴や呼吸法を取り入れる。また、十分な睡眠時間と睡眠の質を確保する。運動の翌日は、前日の身体負荷に応

じて軽運動やマッサージを行い，心身の準備を整える。このように，時間軸に沿って優先順位を設定したプロトコルを展開することが早期回復のカギとなる。

以　　上

心理学専攻心理科学コース

外国語

心理学専攻心理科学コース：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

著作権に該当する箇所のため、解答は開示できません。

以　　上

心理学専攻心理科学コース

専 門

心理学専攻心理科学コース：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

次の大問Ⅰ～Ⅳすべてについて解答せよ。

解答の際は、1問につき1枚の指定された解答用紙を使用して解答すること。

Ⅰ．「態度」の測定方法について説明せよ。

【解答例】

社会心理学における態度は、対象に対する正や負の評価、感情、および好意的－非好意的な行動傾向からなる持続的なシステムである。顕在的態度の測定である直接的測定法と、潜在的態度の測定である間接的測定法の2つに大別される。

1. 直接的測定法

測定対象の自覚的な態度を自己報告形式で直接尋ねる手法である。信頼性と妥当性が高く、尺度構成の手続きが標準化されている。代表的な手法として、サーストン法、リッカート法、セマンティック・ディファレンシャル法（SD法）がある。

サーストン法：事前に収集した大量の意見項目に対して、評定者が客観的に位置づけた心理的距離（標準偏差に基づく間隔）から中央値を算出する。その中から均等な間隔を持つ項目を選出し、対象者に同意・非同意を求めることで、間隔尺度としての測定を目指す手法である。測定に関して厳密であるが、実施が煩雑である。

リッカート法：たとえば「全くそう思わない（1点）」から「非常にそう思う（5点または7点）」といった5～7段階の評定尺度を用い、複数項目の合計点（または平均点）を個人の態度得点とする方法である。項目分析による判別力の確認が行いやすく、実施が容易なため心理学調査において最も広く利用されている。

SD法：SD法では、「良い－悪い」「強い－弱い」といった対比関係にある形容詞対を軸とし、対象に対するイメージや感情的評価を多次元的に測定する。因子分析を併用することで、「評価」「力量」「活動」などの構成概念を抽出できる。

2. 間接的測定法

直接的測定法には、社会的望ましさのバイアスや自覚できない無意識の偏見を測定できないという限界がある。これらを克服するために用いられるのが間接的測定法である。潜在連合テストと生理学的・行動的測定について説明する。

潜在連合テスト：反応時間を指標とし、対象概念（例：若者/高齢者）と評価概念（例：良い/悪い）の心理的結びつきの強さを測定する。連合が強い組み合わせの認知的課題ほど反応が早くなる原理を利用しており、意識的な歪曲が困難な潜在的態度の測定に適している。

生理学的・行動的測定：態度対象を提示した際の瞳孔孔径の変化、皮膚電気反応、表情筋の筋電図、あるいは視線追跡などを測定する。自己報告を解さないため、生理的な反応強度や接近・回避の行動傾向を客観的に捉えることが可能である。

態度の測定においては、研究目的に応じてこれらの手法の特性を考慮し、適切な手法を選択または併用することが求められる。

II. 相関係数と回帰式は、それぞれ、2 つの変数間のどんな関係を示しているかを説明せよ。

【解答例】

対応する 2 変数において、相関係数とはその 2 変数間の関係の強さと向きを表現し、回帰式はその 2 つの変数の関係を表現する。つまり、相関係数は 2 つの現象の関係性を説明する目的で用いられ、回帰式はある現象から、別の現象を説明や予測するために用いられる。ここでの対応するとは、2 つの変数の数値が、同一の人間のものの場合のようなことを意味している。例えば、データセットに n 人分の身長と体重のデータがあるとすると、対応があるというのは変数 x が身長で、変数 y が体重とした場合、 x_1 （データセットの 1 番目のデータ）が人間 1（ n 人のなかの 1 番目の人間）の身長で y_1 が人間 1 の体重であり、 x_2 が人間 2 の身長で y_2 が人間 2 の体重であるような場合である。そして、相関係数は、 -1 から 1 までの範囲を取り、ここでは身長と体重の関係の強さを意味し、正の方向に大きい場合（ 1 に近い場合）には身長と体重の間には強い関係があることを意味し、身長が大きい人は体重も重いことを示す。一方で、 0 付近の数値を取った場合には、身長と体重には関係があまりな

いことを意味しており、負の場合には身長が高い場合には体重は低くなる傾向を示す。回帰式は身長と体重の関係を数式として表現するための数式であり、身長と体重の関係を $y=a+bx$ とした場合には、身長が 1 単位大きくなると体重がどのくらい重くなるかを示す数式ということになる。しかし、この重さの増加量は平均的なものであり、相関係数の絶対値が大きい（1 に近い）場合には計算された数値（予測値）は、実際のデータの数値と近似する傾向が強いが、相関係数の絶対値が小さい（0 に近い）場合には、計算された数値は実際のデータの数値はあまり近似しない傾向がある。また、回帰式は $y=a+bx$ だけではなく、 $x=a+by$ とすることも可能であり、 $x=a+by$ の場合には体重から身長を説明することになる。このように回帰式期は説明するための変数（説明変数・独立変数）と説明されるための変数（目的変数・従属変数）という役割を変数に持たせるが、相関係数の場合には変数にそうした役割の違いはない。

Ⅲ. 心理学の情動理論における、ジェームズ＝ランゲ説とキャノン＝バード説について説明せよ。

【解答例】

心理学の情動理論におけるジェームズ＝ランゲ説と、キャノン＝バード説とは以下のとおりである。

ジェームズ＝ランゲ説

心理学者のウィリアム・ジェームズと生理学者のカール・ランゲによって、19 世紀末にそれぞれ独立に提唱された説である。情動の発生においては、身体的な反応が先に起こり、それに反応する形で情動経験（感情）が生じると説明する。抹消起源説ともよばれる。

キャノン＝バード説

生理学者のウォルター・キャノンがとフィリップ・バードが提唱した説である。

情動の発生においては、身体的な反応と情動経験（感情）は脳を介して、独立して生じると説明される。中枢起源説ともよばれる。

Ⅳ. 質問紙法における信頼性と妥当性について、それぞれの定義およびそれらを保証するために必要な要件や方法について具体的に論ぜよ。

質問紙法における信頼性とは、測定結果がどの程度一貫し、安定して得

られるかを示す性質である。同じ対象を同じ条件で測定した場合に、結果が大きく変動するようでは信頼性が高いとはいえない。信頼性を検討する代表的な方法には、同一の質問紙を一定期間をおいて同じ対象者に実施し、得点間の関連を調べる再検査法がある。これは測定結果の時間的安定性を評価する方法である。また、複数の項目が同一の概念を一貫して測定しているかを検討する内的一貫性も重要であり、Cronbach の α 係数や McDonald の ω 係数などが用いられる。信頼性を高めるためには、質問項目の意味を明確にし、曖昧な表現や複数の内容を同時に尋ねる項目を避け、実施方法や回答方法を標準化することも必要である。

一方、妥当性とは、質問紙から得られた得点が、測定しようとする心理的概念を適切に反映しており、その得点について意図した解釈を行うことがどの程度支持されるかを示すものである。妥当性の検討にはいくつかの方法がある。内容的妥当性は、測定対象となる概念の内容を質問項目が十分かつ偏りなく含んでいるかを専門家の判断などによって検討する。基準関連妥当性は、質問紙得点と、関連する外的基準との関連を検討するものである。また、構成概念妥当性は、その尺度が理論上想定された概念を測定しているかを検討するもので、関連する尺度との相関を調べる収束的妥当性、異なる概念との区別を確認する弁別的妥当性、さらに探索的・確認的因子分析による因子構造の検討などが行われる。

このように、信頼性は測定の一貫性を、妥当性は得点の解釈の適切さを問題とする。一般に、信頼性の低い尺度では妥当な測定も困難であるが、信頼性が高いだけで妥当性が保証されるわけではない。そのため、質問紙を作成・使用する際には、理論的な概念定義を明確にした上で、十分な標本を用いて複数の観点から信頼性と妥当性の証拠を継続的に検討することが必要である。

以　上

心理学専攻臨床心理学コース

外国語

心理学専攻臨床心理学コース：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

著作権に該当する箇所のため，解答は開示できません。

以　　上

心理学専攻臨床心理学コース

専 門

心理学専攻臨床心理学コース：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

次の大問Ⅰ～Ⅳすべてについて解答せよ。

解答の際は、1問につき1枚の指定された解答用紙を使用して解答すること。

Ⅰ. テストバッテリーについて、例をあげながら説明せよ。

【解答例】

テストバッテリーとは、臨床場面で被検者をより多面的に理解することを目的に、複数の心理テストを組み合わせることを指す。例えば、被検者のパーソナリティについて、質問紙法では被検者の意識的な側面を把握し、投映法では無意識的な側面を把握することができることから、両者を組み合わせることで、より多角的に評価できることが期待される。また、発達障害を評価する際、知能検査だけでなく、AQなどの発達評価尺度も組み合わせることで、より正確に評価できる。ただし、複数の過剰な検査は被検者の心理的負担が多くなるため、テストバッテリーでは検査目的に沿った最小限の組み合わせを考えることが重要である。

Ⅱ. 自閉スペクトラム症の特性を持つ小学生は、学校生活においてどのような困難が生じやすいか、具体的に説明せよ。

【解答例】

自閉スペクトラム症（ASD）は、主に社会的なコミュニケーションの困難さや、強いこだわり等の障害特性により、日常生活や社会生活において困難さを持つ発達障害の1つである。原因はいまだ明確に特定されていないが、児童の「わがまま」な性格や生育歴の問題が原因ではなく、脳機能の特性に起因すると考えられている。

自閉スペクトラム症を持つ小学生は、学校生活において以下のような困難を抱えやすいと考えられる。

・対人関係・対話の困難

他者の意図や感情を察すること（文脈を読むこと）が苦手なため、同級生との会話で冗談や皮肉を真に受けて傷ついたり、逆に相手が嫌がることを悪気はなく言ってしまうことがある。また「周囲に合わせて、察して動く」行事等の集団行動についていけなくなったりする。このようなことか

ら、周囲との良好な関係構築に苦勞することがある。

- ・こだわりの強さ、急な変更への適応の困難

「いつもと同じ」ものや手順や環境に対するこだわりの強いため、いつもとは異なる状況（運動会や遠足等の行事、悪天候による予定変更等）に対して強い不安を持ちパニック状態を引き起こしやすい。

- ・感覚過敏・感覚鈍麻による苦痛

刺激に対する敏感さや鈍感さがあり、例としては音（空調の音や教師や同級生の大声）に対する「聴覚過敏」、光（教室の蛍光灯）に対する「視覚過敏」、肌への接触（チクチクした洋服の感触や苦手な食物）に対する「味覚・触覚過敏」等が生じる。これらがストレスとなり、パニック状態になったり、その場から逃げ出そうとすることがある。

これらの困難に対して、絵カードや視覚的なスケジュール表を用いる等の視覚化の支援、イヤーマフの着用や静かなクールダウン空間の確保といった環境調整等、本人の困難に応じた適切な支援が必要である。

Ⅲ. エリクソン (Erik Homburger Erikson) のライフサイクル理論について説明せよ。

【解答例】

Sigmund Freud が提案した発達理論が、思春期までであったのに加えて、Erikson は、人の一生に関して発達理論を提唱した。また、Sigmund Freud の理論は、心理-性的な側面に着眼した理論であったが、Erikson は、個人と社会との関係を重んじ、心理-社会的な側面が入った理論を構築した。

この理論は、8つの発達段階（ライフサイクル）で構成されているが、各段階には心理-社会的な課題と危機が想定されており、それによって獲得されるもののもの想定されている。8つの段階の日本語翻訳は様々なものがあるが、①乳児期、②幼児期前期、③幼児期後期、④学童期、⑤思春期、⑥青年期、⑦壮年期、⑧老年期である。

この中で最も有名なのは、思春期の理論であろう。思春期に、自分は何者だろう、といった自我同一性 (ego-identity) の課題が設定されており、「自分が自分である」という感覚 (実感) を示す言葉として広く心理学以外にも知られるようになっている。自我同一性を確立できない場合、いろいろな様態が想定されているが、そのひとつとして、自我同一性の拡散 (identity diffusion) がある。自分が何者なのかが分からなくなり、とても生きづらくなる状態のことで、思春期や青年期心理学に大きな貢献を

もたらした概念である。現代のひきこもり、不登校、ニートなどにも関係する概念であり、現在の臨床心理学にも多大な影響を与え続けている。

ちなみに、Erikson は、実父を知らないといった生い立ち、写真が残っているが北欧風の風貌及び人種のことからくる周囲との馴染みにくさや、大学の学位をもたないといった学歴であるが、それらのすべてが結集し、成熟した結果、ハーバード大学などで教鞭をとる心理学者となり、今も尊敬される世界的な存在となった。この事実は、特筆に値するものと思われる。

Erikson が働いた Austen Riggs Center は、彼に憧れる心理学者の聖地ともいえよう。

IV. プレイセラピーについて説明せよ。

【解答例】

プレイセラピー（遊戯療法）とは、主に子どもを対象とし、「遊び」をコミュニケーションの媒体として用いる心理療法の一種である。大人の心理療法における「対話」に相当する役割を「遊び」が担っている。子どもは自らの感情や葛藤、トラウマを言語化することが困難な場合が多い。そのためプレイセラピーでは、安全に配慮された面接室（プレイルーム）の中で、様々なおもちゃを用いて自由に遊ぶことを通し、非言語的に内面の世界を表現させる。

遊戯療法におけるセラピストのアプローチには大きく分けて2つの立場が存在する。

・精神分析的遊戯療法

精神分析学派のアナ・フロイトやメラニー・クラインらによって基盤が作られた。遊びに表れる子どもの無意識的な葛藤や象徴的意味をセラピストが観察・解釈するアプローチ。

・来相談者中心遊戯療法

バージニア・アクスラインらが発展させたアプローチ。セラピストは解釈や誘導を行わず、子どもの安全な受け皿として共感的に寄り添う。これにより、子ども自身が持つ自我の成長力や自己実現傾向を引き出す。

プレイセラピーの治療的意義は、第一に遊びの中で抑圧された感情（怒り、恐怖、悲しみ等）を解放（カタルシス）できる点にある。第二に、信頼できるセラピストとの関係性の中で「受容される体験」を重ねることで、自己肯定感を取り戻し、現実生活への適応力を育む点にある。

現在では、不登校、緘黙症、虐待による心理的トラウマ、発達障害に伴

う二次障害等，様々な問題を抱える子どもへの重要な心理支援として幅広く実践されている。

以　　上

地理学専攻

外国語

地理学専攻：外国語

解答（解答例）又は解答のポイント

以下の問 1 と問 2 に解答しなさい。

問 1

著作権に該当する箇所のため、解答は開示できません。

問 2

問題①

- ・第 1 段落の訳については、著作権に該当する箇所のため、解答例を記載できません。
- ・イギリスと日本のセンサスの歴史の比較についての解答例についても第 1 段落の著作権の関係がありますので、おもに日本についての解答例を記載します。

イギリスでは、1801 年以来、10 年ごとにセンサスの調査が実施されているのに対し、日本では、1920 年より 5 年ごとに実施している（1945 年のみ 1947 年に実施）。日本でも 1902 年の法律で 10 年ごとに実施することになっていたが、人口変動の実態を把握するのに不十分だったために 5 年ごとに実施している。1930 年には、従業地による人口（昼間人口）を調査し、以後、調査項目を増やすとともに、戦後の 1950 年には世界人口センサスの一環として調査を実施し、現在地主義から常住地主義に切り替えられた。2015 年からはオンライン調査を導入している。

問題②

- ・センサスデータがなぜ重要なのかについては、第 2 段落の著作権の都合上、解答例を記載できません。また、自身の考えについては、受験生ごとに異なるので解答例を記載できません。

以 上

地理学専攻

専 門

地理学専攻：専門

解答（解答例）又は解答のポイント

問1 以下の自然地理学的事象について説明しなさい。

- (1) ヒートアイランド現象及び地球温暖化に伴う現象について、両者の違いがわかるようにそれぞれ説明しなさい。

【解答例】

ヒートアイランド現象とは、「都市がなかったと仮定した場合に観測されるであろう気温に比べ、都市の気温が高い状態」をいう。地球温暖化に伴う現象には、勢力が強い台風・ハリケーンやそれらに伴う高潮、大雨・集中豪雨やそれらに伴う洪水・地すべり、干ばつ、熱波、極域の海水面積や氷床の体積の減少、山岳氷河の崩落、海面上昇などが挙げられる。

人間活動が原因で気温の上昇をもたらすという点では同じであるが、その仕組みや現象の規模は全く異なっている。ヒートアイランド現象は、人工的な構造物や排熱を要因として気温が上昇する現象で、その広がりや都市を中心とした限定的である。ところが地球温暖化は、大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスが増えることを要因として気温が上昇する現象で、地球規模の広がりをもつ。

国内非都市部の各地の近年の気温の上昇率は、地球温暖化による影響を反映しているものと考えられます。一方、国内都市部の各地の気温は、その上昇率に加えて都市化によるヒートアイランド現象が上乗せされ、さらに高い上昇率となっている。

参考資料

環境省：<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/knowledge/Stop2017.pdf>

気象庁：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/cpdinfo/himr_faq/01/qa.html

気象庁：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/cpdinfo/himr_faq/03/qa.html

- (2) 岩石の物理的風化及び化学的風化について、両者の違いがわかるようにそれぞれ説明しなさい。

【解答例】

物理的風化（physical weathering）は温度変化や氷・塩類の結晶化などにより岩石が細かく破砕されていくプロセスであり、以下のように区分される：熱風化、乾湿風化、凍結・融解風化、塩類風化、除荷作用。

化学的風化 (chemical weathering) とは、水が岩石と化学的に反応して岩石を分解 (decomposition) することである。その際、水自身も水質が変化する。どのように岩石と水が変化するかは、岩石と水の性質・割合・接触面積、及び水流の量・速さ・温度などの組合せによって異なる。これらの組合せに応じて、化学的風化は一般に、炭酸塩化と酸化、水和、溶解、加水分解などの諸作用に分類される。

よって、物理的風化及び化学的風化の違いは、前者が除荷作用を除けば現象が繰り返し作用することによって岩石が「疲労」することによって生じることから、一種の疲労破壊 (fatigue failure) 現象を指すのに対し、後者は水-岩石反応 (water-rock interaction) 過程で生じる現象を指す点である。

参考文献

松倉公憲 (2021) 『地形学』 pp. 80-88. 朝倉書店

- 問 2 商業分野における地理情報システムの活用について、その役割と意義を述べなさい。また、具体的な事例を一つ挙げ、そこではどのようなデータが用いられ、どのような意思決定に寄与しているかについて論じなさい。

【解答例】

1. 商業分野における地理情報システムの役割

商業分野における地理情報システムの役割は、空間データと属性データを統合・可視化し、複雑な商圈構造を定量的かつ客観的に分析することにある。従来の手法では、店舗担当者の経験や勘、あるいは単なる円描画による定規的な商圈設定に依存しがちであった。これに対し GIS は、実際の道路網、地形、土地利用、競合店舗の位置関係などの多様な空間的制約を考慮した高度な空間分析を可能にする。

2. 商業分析における地理情報システムの意義

意思決定の客観性と精度の向上

勘や経験ではなく、統計データや位置情報に基づく立地戦略を支援する。

多次元データの統合と視覚的理解

人口動態、消費購買力、交通インフラ、土地利用データなどを同一地図上に重ね合わせ、地域特性を多角的に把握できる。

時間・コストの削減と再現性の確保

現地調査に先立ち広域の候補地を事前整理できるため、新規出店や撤退に伴うコストやリスクを低減できる。

3. コンビニエンスストアの立地分析における事例

コンビニエンスストアの出店分析においては、主に以下の4つのデータが用いられる。

人口・世帯データ；

国勢調査に基づく町丁・字等別の人口、昼夜間人口、年代別人口構成などのデータである。商圈内に存在する潜在顧客の総数や、昼夜における需要の変化を把握するために活用される。

交通・ネットワークデータ；

道路網、歩道の幅員や車線数、通行量、駅の乗降客数などのデータである。直線距離ではなく、実際の移動時間を考慮した到達可能圏を算出するために用いられる。

施設・競合データ；

学校、オフィス、病院などの施設情報や、自店舗・競合店の位置データである。集客の要素となる主要施設の把握や、自社店舗同士の顧客の奪い合いを防ぐ目的で利用される。

都市・土地利用データ；

土地利用図、用途地域などの都市計画区分、地価・賃料、駐車場の有無などのデータである。店舗開発における法律上の制約確認や、出店コストの評価に活用される。

これらのデータを地理情報システム上で重ね合わせ、ネットワーク分析を適用することにより、新規出店候補地の高精度な売上予測や、既存店との商圈重複を避けた最適な店舗網の構築といった意思決定に大きく寄与している。

以　　上